「仕事と生活の調和」実現度指標のイメージ

直面している課題

社　会

◇ 少子・高齢化社会の到来
◇ 地域社会のつながりの希薄化

企　業

◇ グローバル化による競争激化
◇ 技術革新の加速
◇ 知識社会への移行
◇ 人材不足

個　人

◇ 正社員、男性に多い長時間労働
◇ 仕事と家庭生活の事情が調整しづらい
◇ 非正社員は、時間の柔軟性はあるが処遇が不安定　　等

困難な状況

◇ 仕事だけでなく、家庭や地域での生活も大切にしたいが、困難
◇ 家庭の事情で働き続けることができない（特に女性）
◇ 柔軟に働き方を選択したいが、生活が不安定になる。
◇ 高齢期も働きたいが、働く機会は限られる　　等

目指すべき社会

個人

仕事・働き方
・柔軟な働き方の選択
・多様な主体の参加

家庭生活
・家族で過ごす時間の確保
・家事・育児への関わり方

地域・社会活動
・希望する人の地域活動等への参加
・多様な主体の地域活動等

様々な活動を自ら希望するバランスで展開

学習・趣味等
・学習・趣味等の時間
・多様な主体の学習・趣味等への参加

健康・休養
・心身の健康の保持
・休養のための時間の確保

仕事と生活の調和が実現した社会の具体的な姿

就労による経済的自立が可能な社会

健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会

多様な働き方・生き方が選択できる社会

環境整備

◇ 勤務時間短縮制度の整備
◇ 育児休業・介護休業の利用促進
◇ 従業員の自己啓発支援
◇ 従業員の健康支援、メンタルヘルスケア
◇ 雇用・労働政策
◇ 両立支援施策　　等

企業・社会へ期待される効果

◇企業の競争力強化　◇高付加価値化　◇多様性の受容
◇地域社会の活性化　◇少子化の進展への歯止め　　等

多様性を尊重した活力ある社会、持続可能な社会

実現度指標

＜個人の実現度指標＞

-５分野毎に整理-

◇ 仕事・働き方
◇ 家庭生活
◇ 地域・社会活動
◇ 学習・趣味等
◇ 健康・休養

＜環境整備指標＞

◇ 行動指針に盛り込まれる取組及びそれによる社会環境の変化など